

YKK AP「窓学」10周年記念 「窓学展—窓から見える世界—」

2017年9月28日（木）開幕 10月9日（月・祝）まで
東京都港区 スパイラルガーデンにて開催中

レアンドロ・エルリッヒ、ホンマタカシ、ミケーレ・デ・ルッキ、原広司、塚本由晴、五十嵐太郎ら
12名のアーティスト、建築家、研究者が参加

The poster features a light gray background with a large blue abstract shape in the center. At the top right, the YKK AP logo is displayed. The main title '窓学展' is written in large, bold black characters. Below it, the English title 'Windowology 10th Anniversary Exhibition: The World Through the Window' is written in a smaller font. The dates '2017年9月28日(木) - 10月9日(月・祝)' and the location '@Spiral Garden (Spiral, 1F)' are also included. A handwritten-style quote in black ink reads: 'There is always a good reason to open a window smiling!'. Below the quote is a simple line drawing of a person standing in an open window frame. In the bottom left corner, there is a small logo with the characters '窓学' and the website 'madogaku.madoken.jp'. The artist's name 'MICHELE DE LUCCI' is written in the bottom right corner.

窓学10周年記念

窓学展

「窓から
見える世界」

Windowology
10th Anniversary
Exhibition:
The World Through
the Window

2017年9月28日(木) -
10月9日(月・祝)

@Spiral Garden (Spiral, 1F)

*There is always
a good reason
to open a window
smiling!*

窓学

madogaku.madoken.jp

MICHELE DE LUCCI

YKK AP株式会社（本社：東京都千代田区、社長：堀 秀充）は、2017年9月28日（木）から10月9日（月・祝）、スパイラル（東京都港区）にて、窓学の10周年を記念したエキシビション「窓学展—窓から見える世界—」を開催いたします。

YKK APは、「窓は文明であり、文化である」の思想のもと、2007年から窓を学問として多角的に研究する活動「窓学」を研究者・建築家とともに実施し、建築、文化、アートなど、様々な切り口で窓にアプローチしてきました。本展は、「窓学」10周年を機に、こうした窓をめぐる知性や感性を、世界共通の文化として俯瞰し、その魅力に新たなまなざしを向ける展覧会です。

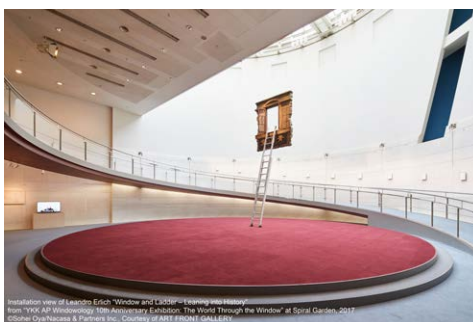
本展では、過去10年間の窓学の多彩な研究成果をわかりやすく紹介し、幅広く窓を考え、感じることでできる展示を行ないます。アカデミックな分野からは、東京大学をはじめとする大学および研究機関より計8名の研究者が参加し、研究展示を行ないます。さらに、アートの分野からは、レアンドロ・エルリッヒ氏、ホンマタカシ氏、鎌田友介氏の3名のアーティストが本展のために、新たに窓をテーマとした作品を制作・発表します。また、イタリアを代表する建築家のミケーレ・デ・ルッキ氏が特別展示を行ないます。

展示ディレクターには、2007年の窓学開始当初より、窓学の総合監修を務める東北大学教授で建築批評家の五十嵐太郎氏、会場構成に東京国立近代美術館所蔵品ギャラリーリニューアル等を手がけた建築家の西澤徹夫氏、展覧会から装丁まで幅広くグラフィックデザイン分野で活躍する岡本健氏他、制作チームにも豪華なメンバーを迎えました。

また、会期中、2017年10月3日（火）には、シンポジウム「窓学国際会議—窓は文明であり、文化である—」を開催いたします。

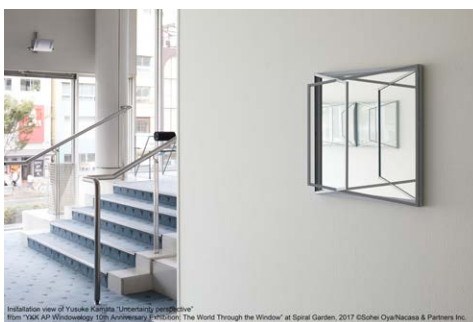
世界的な建築写真家であるイワン・バーン氏、歴史家・建築家として精力的に活躍する藤森照信氏、スイスから来日する建築家・建築史家のヴィットリオ・マニャーゴ・ランプニャーニ氏や、特別展示にも参加のミケーレ・デ・ルッキ氏をはじめ、これまで窓学に参加した多彩な分野の専門家に、海外からのユニークなゲストを加え、27名の招待講演者による国際的かつ学際的な窓の研究発表および講演が実現します。建築家や歴史家、社会学者、人類学者らが一堂に会し、窓を語る、濃密な1日となります。ぜひご期待ください。

さらに、2017年10月1日、窓学10周年を機に窓研究所の新拠点として、「窓研究所アネックス」をYKK和泉ビルに開設いたします。今後、窓文化の浸透のため、新しいスペースを拠点に幅広い活動を行なっていきます。



左
ホンマタカシ氏が窓学のプロジェクトの一環としてル・コルビュジェの建築の窓をとりおろし、被写体となった窓辺空間の実寸模型をカメラオブスキュラとともに展示。

右上
金沢21世紀美術館の『スイミング・プール』で広く知られるレアンドロ・エルリッヒ氏が、窓をテーマにした新作インスタレーションを展示。今回目玉となる作品の一つです。



右下
リサーチを基に人々の認識の違いを顕在化させる立体作品を制作する若手アーティスト、鎌田友介氏は、新作3作品を展示。

Exhibition : 窓学10周年記念「窓学展—窓から見える世界—」 概要



概要

日時:	2017年9月28日(木)～10月9日(月・祝) 11:00-20:00 (会期中無休)
会場:	スパイラルガーデン (スパイラル1F) 東京都港区南青山5-6-23 TEL. 03-3498-1171 (代表)
入場料:	無料
展示ディレクター:	五十嵐太郎 (東北大学教授/建築史・建築批評家/「窓学」総合監修)
展示コーディネーター:	柴田直美 (編集者)
会場構成:	西澤徹夫 (建築家)
展示グラフィック:	岡本健 (グラフィックデザイナー)
WEBデザイン:	大輪英樹 (PULP 代表)
主催:	Y K K A P 株式会社
特設ウェブサイト:	http://madogaku.madoken.jp/

作品展示

レアンドロ・エルリッヒ (アーティスト)、ホンマタカシ (写真家)、鎌田友介 (アーティスト)

研究展示

五十嵐太郎 (東北大学教授/建築史・建築批評家/「窓学」総合監修)、小玉祐一郎 (神戸芸術工科大学名誉教授/建築家)、佐藤浩司 (国立民族学博物館准教授/建築人類学者)、塚本由晴 (東京工業大学教授/建築家)、中谷礼仁 (早稲田大学教授/歴史工学家)、原広司 (東京大学名誉教授/建築家)、村松伸 (東京大学教授/建築史家)、六角美瑠 (東京大学生産技術研究所特任助教/建築家)

特別展示

ミケーレ・デ・ルッキ (建築家)

オープニングトークイベント

日時 9月28日(木) 19:00-20:30

会場 スパイラルカフェ (スパイラル1F) [参加費] 無料、要事前申込、逐次通訳付

登壇者 原広司 (東京大学名誉教授/建築家)、レアンドロ・エルリッヒ (アーティスト)、五十嵐太郎 (東北大学教授/建築史・建築批評家/「窓学」総合監修)

巡回展スケジュール

2017年10月21日(土)～11月12日(日) 金沢工業大学 ライブラリーセンター1階展示室

入場料: 無料

トークイベント11月10日(金) 18:30～

会場: 金沢工業大学ライブラリーセンター2階イベントホール

参加費: 無料

予約: 不要

登壇者: 五十嵐太郎 (東北大学教授/建築史・建築批評家/「窓学」総合監修)
佐藤考一 (金沢工業大学環境建築学部建築デザイン学科教授)

モデレーター: 宮下智裕 (金沢工業大学環境建築学部建築デザイン学科准教授)

2018年2月28日(水)～3月27日(火) 東北大学 人間・環境系教育研究棟 トンチクギャラリー

入場料: 無料

トークイベント 2018年3月5日(月)

会場: 東北大学 (場所未定)

参加費: 無料

予約: 不要

登壇者: 塚本由晴 (東京工業大学教授/建築家) 他 (予定)

その後、名古屋工業大学、大阪市立大学、九州大学に研究展示の巡回を予定しています。

(詳細は随時、窓学展特設ウェブサイトで公開)

「窓学展—窓から見える世界—」のクリエイティブチームからのコメント

展示ディレクター 五十嵐太郎（東北大学教授／「窓学」総合監修）

窓学は世界でも類例がないユニークなリサーチ・プロジェクトとして10年前に始まりました。これまで展開していくなかで、意匠、言語、環境、健康、民族、歴史、物語、漫画、映画など、その射程は様々な領域に拡がりました。窓はデザインの要になるだけでなく、人々のふるまいに関わり、社会、文化、技術の様相を反映しているからです。今回の窓学展は、多くの研究者や大学の研究室と共同した成果を紹介するものです。窓を切り口にして世界を観察すること。また展覧会という場を生かして、現代美術家や写真家による窓をモチーフにした作品の空間インスタレーションにも挑戦します。アートや個性的な研究発表を通じて、窓が建築のもっとも魅力的な部位であることを感じていただければと思います。

会場構成 西澤徹夫（建築家）

この展覧会は、窓学の研究成果資料を展示する什器群と、レアンドロ・エルリッヒ、ホンマタカシ、鎌田友介の3氏の窓をテーマとした作品からなります。什器群は、キャプションの書かれた窓、メディウムがそれぞれ全く異なる資料展示に合わせたテーブル、スチール製の脚でできています。スパイラルの特徴のある展示スペースごとに、サイズ、形態、内容、訴求性、情報などを振り分けて整理し、シークエンス、滞留、場所、読み流れをつくっています。そして、この展示計画そのものが窓学への窓となることを目指しています。

展示グラフィック 岡本健（グラフィックデザイナー）

展覧会と国際会議、二つの催しが呼応するように、青と赤の色面を大きく配したビジュアルを制作しました。色面と共にビジュアル化したミケーレ・デ・ルッキ氏のドローイングが、窓学の起源を象徴的に表しています。青と赤の二つの色面が、展覧会と国際会議を示すよう、展覧会の「展」と会議の「会」をモチーフにし、それぞれの催しを直感的なアイコンで表しました。

展覧会の見どころ

レアンドロ・エルリッヒによる「窓」の新作アート展示と原広司の研究展示の交流

金沢21世紀美術館の作品『スイミング・プール』で知られるアルゼンチンのアーティスト、エルリッヒ氏は、父親などの親族3名が建築家という、建築への造詣も深いアーティストです。本展では、2008年度に窓学で「窓のものがたり学」を研究した、建築家であり東京大学名誉教授の原広司との交流がありなすファンタジックな窓のアートが表参道に誕生します。「窓という要素は、最も詩的で隠喩的なポテンシャルを持っている」というエルリッヒ氏は、童話や小説に登場する窓をとりあげる原広司氏の窓学研究「窓のものがたり学」と呼応するかたちで、窓が本来持つ力を呼び起こし窓の創造力を掻き立てる新しい作品を制作しました。

ミケーレ・デ・ルッキと窓学

イタリア人の建築家でありデザイナーであるデ・ルッキ氏は、2005～2006年に、窓学誕生のきっかけとなったYKK AP株式会社のリサーチ・プロジェクトに参加しました。本展ではデ・ルッキ氏がこのリサーチの際に制作したペインティングを2点公開します。また2014年にデ・ルッキ氏が窓研究所のインタビューを受けた際に描き、本展覧会のメインビジュアルでもあるドローイングもあわせて初公開します。窓を建築における最も重要な要素であるとするデ・ルッキ氏は、“There is always a good reason to open a window smiling!”（笑顔で窓を開けることがとても大切だ。窓を開け、世界に挨拶しよう！）というメッセージを綴っています。

ホンマタカシによるル・コルビュジェにフォーカスした作品 “Camera Obscura Studies, La Tourette”

2015年度より「窓の写真学」のテーマで窓学研究にも参加しているホンマタカシ氏が、建築家ル・コルビュジェ作品の窓に焦点を当てて新作を撮り下ろしました。中でもホンマ氏が特に感銘を受けたラトゥーレット修道院の窓辺を実寸模型によって空間再現するとともに、ホンマ氏の撮り下ろし窓写真を数点、合わせて展示します。窓を通して外の風景が室内に逆さまに映し出されるカメラオプスキュラの原理を使い、ル・コルビュジェが設計したラ・トゥーレット修道院の宿坊部屋を丸ごとピンホールカメラにし、窓から見える風景を露光させて撮影を行なっています。今回の展示では、被写体となったル・コルビュジェの窓辺空間を実寸模型と、実際にピンホールで撮影したイメージや、修道院の窓から見える風景を展示します。

展覧会の見どころ

気鋭のアーティスト 鎌田友介による窓をモチーフとした作品

海外へと活躍の場を広げる若手アーティスト、鎌田友介氏は、「不確定性の透視図法」のタイトルのもと、本展のために3つの新作を制作しました。ガラスと鉄、鏡で製作された窓のオブジェは、窓のようでありながら、重なったり、変形されたりして、ひとや風景をとりこみます。不思議な窓体験をぜひご堪能ください。

展示会場全体が“窓”の雰囲気一色に

会場構成の西澤徹夫氏が窓を彷彿とさせるかわいらしい展示什器をデザイン。各研究を紹介する“窓”が7つの展示什器それぞれに設置されています。岡本健氏のグラフィックデザインでも、グラフィックを彩るさまざまな“窓”が登場します。また、会期中はスパイラル1階のスパイラルカフェにて窓をイメージした特別メニューを提供予定です。あわせてお楽しみください。

研究展示は金沢、仙台、名古屋など、全国の5大学に巡回予定

今回展示される7つの研究展示は、全国5大学（金沢工業大学、東北大学、名古屋工業大学、大阪市立大学、九州大学）へ巡回します。巡回先の金沢工業大学と東北大学では、窓学総合監修の五十嵐太郎氏やアトリエ・ワンの塚本由晴氏を招いてトークイベントを開催します。

研究展示

五十嵐太郎

窓の漫画学

『サザエさん』、『ドラえもん』、『こちら葛飾区亀有公園前派出所』といった国民的漫画に登場する窓から、窓辺の生活や時代の移り変わり、ストーリーを豊かにする舞台装置としての窓の役割を読み解きます。

小玉祐一郎

窓の環境制御学

世界の名作建築において窓は、実際のところどう機能しているのか。モダニズム建築の巨匠アルヴァ・アアルトの自邸などの名作といわれる窓について、風、光、熱のシュミレーション解析を行い、環境の変化を映像でわかりやすく表現した実験的な展示を行ないます。

佐藤浩司

窓の民族学

文化人類学者として長年、原初的な生活が残る地の建築を訪ね歩く佐藤浩司氏が描いた野鳥図や詳細スケッチなどの貴重な資料や、長年愛用のフィールドワーク道具を展示します。

塚本由晴

窓の仕事学

日本全国の伝統的な生産工程が残る日本の工房や食品の加工所を調査し、モノをつくる過程で、湿度や温度を調整したり、光を採りいれたりしながら人とともに働く窓を記録しました。あわせて手書きのドローイングや、映像・写真を展示し、人々の生業に密着して活躍する窓を紹介します。

中谷礼仁

窓の記録学

日本の伝統的な建築物の窓は、柱と柱の間にとりつけられる「^{はしらま}柱間装置（^{まど}間戸）」でした。日本各地の「柱間装置」に関わる歴史的建造物や伝統行事に24時間密着し、映画として記録しました。本展では初披露2作品を含む計4作品を展示します。絵コンテなどの様々な映像関連資料もご覧いただけます。

原広司

窓のものがたり学

グリム童話や、ムーミン、宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』など、古今東西の物語の中に表現された窓は、わたしたちの想像力をはるかに超えた豊かさを示してくれます。事前に収録したエルリッヒ氏との対談映像と共に、エルリッヒ作品との共演をお楽しみください。

村松伸+六角美瑠

窓の進化系統学

窓は、古代の洞窟から、現代まで、様々な系統に分かれながらも樹系図のように進化してきました。そして現代、さらに面白い方向に進化しようとしています。大聖堂のステンドグラスから銀閣、現代建築まで、古今東西の窓と建築の模型と共に、その歴史と未来を紐解きます。

参考資料



窓学について

「窓学」とは、YKK APが「窓は文明であり、文化である」の思想のもと2007年より取り組む、窓を学問として多角的に研究する活動です。窓を歴史的、文化的に位置づけると同時に、その意味や役割を見極め、窓の新たな魅力や可能性を提示することで、よりよい建築、都市、社会づくりに貢献することをめざして活動しています。

この10年間で、東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学をはじめとして、国内外の大学や研究機関計17箇所、のべ55名の研究者、建築家、アーティスト等が、分野の垣根を超えて参加し、50を超える窓の多様なテーマについて研究を蓄積してきました。

一私企業でありながら、技術的な側面のみならず、歴史、文化、社会的役割や意義等の視点で多角的に研究する「窓学」の取り組みは、企業と社会、企業と大学との新たな関係性を社会に提起しています。

「窓学」の成果は、国内外での出版、展覧会や研究会の開催などを通して社会へと共有されるとともに、窓の価値や可能性を独自に発信しており、2014年には、家具やデザイン分野における世界最大規模の国際見本市、ミラノサローネヘアトリエ・ワンと共に出演、イタリアのミラノ大学にて、「窓学」を基にした窓のインスタレーションと研究成果を展示しました。



窓研究所について

「窓学」の研究活動を行う組織としてYKK AP株式会社内に2013年に創設されました。専門役員の山本絹子所長を中心に、約10名のスタッフで構成され、研究者・建築家とともに窓をアカデミックな視点から調査・研究しています。

窓研究所公式ウェブサイト <http://madoken.jp/>

建築・アート・デザイン等の分野において第一線で活躍する方々にご出演いただき、様々な視点から窓へアプローチし、窓に関する良質な情報を世界へ発信しています。

出演者は、SANAA・西沢立衛（建築家）、藤本壮介（建築家）、堀江敏幸（作家）、ナデル・テラーニ（建築家、デザイナー）、ホンマタカシ（写真家）、アレック・ソス（写真家）、安東陽子（テキスタイルコーディネーター、デザイナー）、mame・黒河内真衣子（デザイナー）など、他多数。

お客様からのお問い合わせ先

YKK AP株式会社 お客様相談室

一般のお客様 TEL. 0120-20-4134

建築・設計関係者様 TEL. 0120-72-4134

<http://www.ykkap.co.jp>

報道関係者様からのお問い合わせ先

窓学展 PR事務局/HOW INC.

pressrelease@how-pr.co.jp

TEL. 03-5414-6405/ FAX. 03-5414-6406